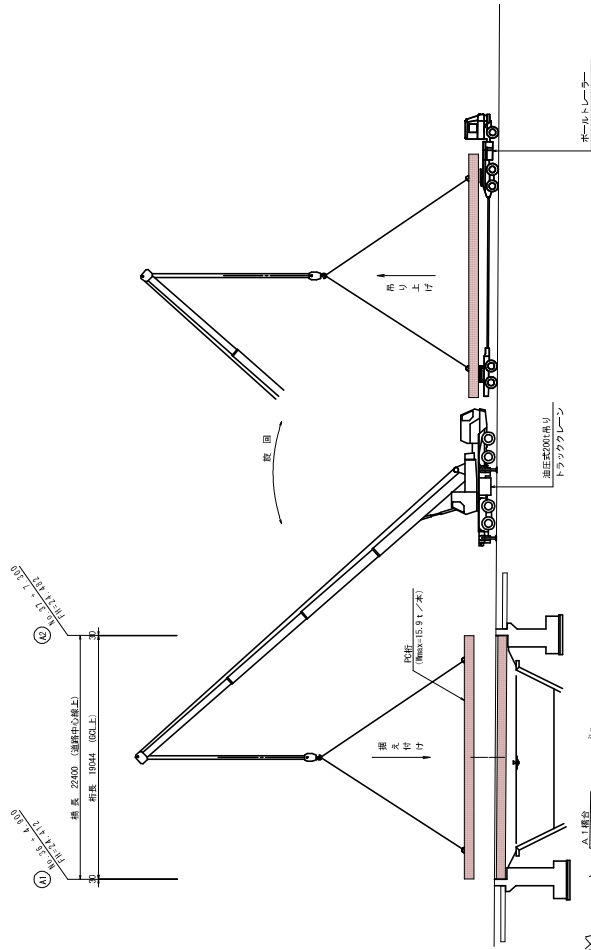


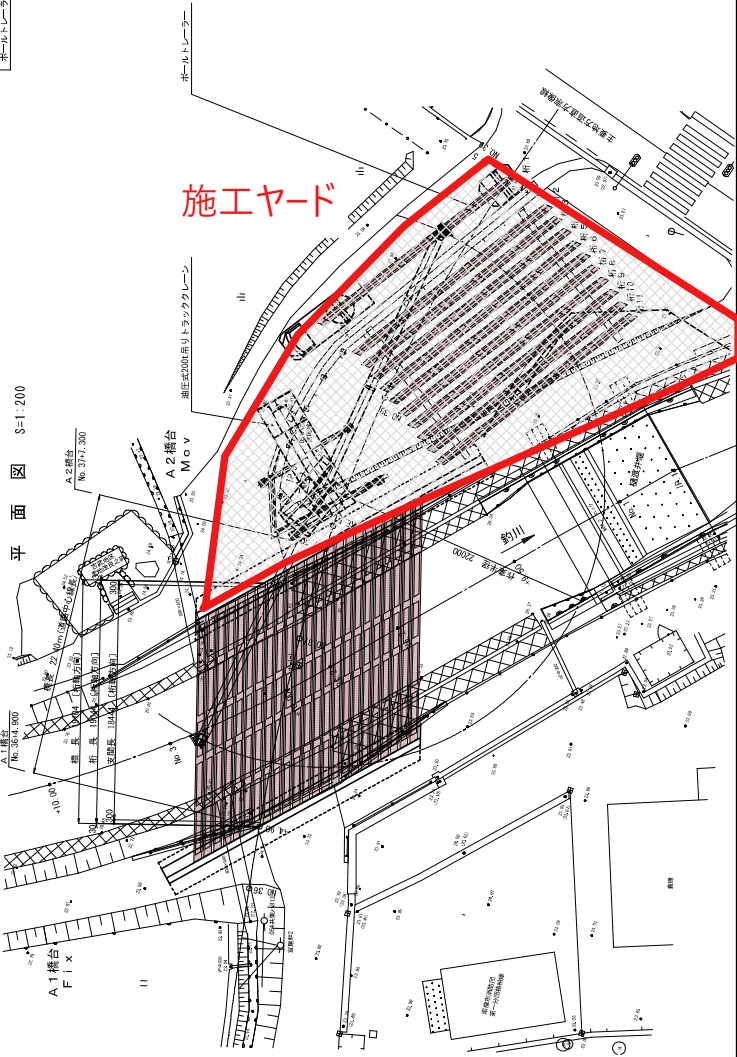
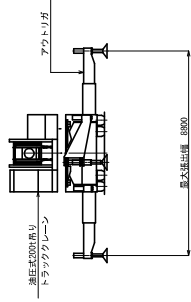
参考図

工事年度	令和 7 年	建設工事 第 4683 号 工区
工事名	東通河原橋第5留工区本村橋梁上部工事	
路線名	東通河原橋梁	第 5 留
河川	吉留	地内
工事箇所	示像	主桁架設要領図
図面名	主桁架設要領図	
縮尺	図面番付全 3張之内 1号	
事務所名	福岡県北九州県土整備事務所	
認可当	初案	当 初 査 定
認可当	変更	能 第 回変更

主桁架設要領図



クレーン断面図 S=1:100



架設要領

1. 工機にて既設 橋梁より、本工区 架設 要領 図を参照する。
 2. 図のようにA1橋台前面に前記22.40m幅のトラッククレーンを配置する。
 3. 工機で製作された桁をクレーンにて現場まで搬送し、トラッククレーンの作業半径内に据え付ける。
 4. トラッククレーンにて桁を吊り上げゆっくり設置して所定の位置に据え付ける。
 5. 以下、4の作業を繰り返し、桁架設を行う。
 6. 桁架設入に際して、諸条件により変更となる場合は、図面のように変更を指示し、変更すること。
- その際、現場を踏破すれば、A1橋台の掘削・仮設が可能な場合があるが、現場が不安定な場合は別途要となるため、事前に調査・確認と協議が必要である。